

2月3日勉強会レジュメ

高橋史朗

- 1 「困難な問題を抱える女性への支援に係る基本方針等に関する有識者会議」の構成員
 - (1) 仁藤夢乃…有本香「Colabo 問題の核心」、池田良子「仁藤夢乃と赤いネットワーク」
 - (2) 戒能民江（お茶の水女子大名誉教授、性暴力禁止法を作ろうネットワーク共同代表）
 - (3) 近藤恵子（全国シェルターネット理事・元代表）
 - (4) 大谷恭子（弁護士、日本赤軍最高幹部の重信房子の弁護）
- 2 東京都男女平等参画審議会委員就任に関する「憂慮声明」呼びかけ人（平成 18 年）
 - 13 団体 802 名
 - 呼びかけ人（赤石千衣子・上野千鶴子・戒能民江・東海林路得子矯風会ステップハウス 所長など）
 - 戒能民江（埼玉県男女共同参画審議会委員）氏ら 3 名に配達証明付「公開質問状」送付
- 3 伏魔殿・内閣府男女共同参画会議をめぐる騒動
 - (1) 政府の少子化対策重点戦略検討会議分科会委員への横すべり人事（塩崎官房長官）
 - (2) 第二次安倍政権下の人事騒動を收拾した菅官房長官
 - (3) 首相官邸での会議の「クォータ制」に関する資料配布拒否事件
 - (4) 月刊誌の巻頭言の「典型的家族」の削除要請と月刊誌の表紙・タイトル「ジェンダー革命」
 - (5) 安倍晋三対談における安倍発言「私はジェンダーフリー教育の元になっている、男女共同参画基本計画については、約 170 か所を修正し、正常化に努めました」
- 4 画期的な「国連自由権規約委員会対日審査への NGO 意見書」
 - (1) 日本の左派団体が国連の委員会に働きかけてマッチポンプ式に誘導してきた「こども庁」「こども基本法」論議に一石を投じた
 - (2) Summary…「女性支援のため」という名目で国の予算を得て、虚偽 DV や実子誘拐を教唆し、夫婦を離婚に至らしめ、家族を破壊し、子供たちを不幸にしている女性支援団体などに対する誤った予算の使い方を直ちにやめ、正しい予算の使い方をする旨の勧告を日本政府に出してほしい。
 - (3) Text…国の予算が、実態が曖昧なペーパーカンパニーと疑われる女性支援 NPO やフェミニスト団体、極左団体に何の審査もなく流れている。
 - (4) Document
 - ① 日本キリスト教婦人矯風会（大津恵子・東海林路津子・松井やより）
→DV シェルター女性の家 HELP と矯風会ステップハウスを運営
 - ② 全国シェルターネット（大津恵子・近藤恵子）
→全国 108 箇所の DV シェルターの運営

③ 反貧困ネットワーク（宇都宮健児・赤石千衣子）

→ホームレス支援。シェルター運営の湯浅誠氏は首都圏青年ユニオン書記長

*女性相談員の指導を行う「フェミニストカウンセリング東京」と民間シェルターの指導を行う「全国女性シェルターネット」の住所は10年前から同一であるということはDVを利用したマッチポンプが可能であり、女性支援ビジネスが利権化している事実を示しており、このようなペーパーカンパニーに国が補助金を出すことは問題である。

*男女共同参画予算9兆9220億円のうち、女性関連予算が15億円

(5) 具体的勧告要請

- ① 予算は民間団体に丸投げせず、女性支援のための予算は公的機関に下すこと
- ② 女性支援のための予算を受けた機関は、定期的な収支を提出すること
- ③ 家庭内暴力の申し出、又は疑いがあった場合は必ず警察が介入し、虚偽DV（実子誘拐）と真正DV（合法的緊急避難）を振り分け、実子誘拐を未然に防ぐこと
- ④ ③を可能にするため、警察に十分な予算（①）を充て、女性警官を増やし、DV専門課をつくること

5 「こども家庭庁」論議をリードする末富芳日大教授（内閣府子供の貧困対策有識者会議構成員）の親権問題「論点整理」

(1) **子供の最善の利益、ウェルビーイングの視点が置き去りにされているのではないか**
→養育費確保、離婚後の面会交流、特別養子縁組制度の改善などを「大人ファースト」の親権論議でなく…

(2) 共同親権＝養育費確保＋面会交流？

- ① 共同親権でも養育費が払わなければ子供が貧困化
- ② 親権があっても子供に会えない親もいる
- ③ 単独親権でもすでに面会交流できる日本

(3) 子供の生命と安全を守る仕組みが脆弱なままの共同親権・面会交流は危険

- ① 面会交流はDV・性暴力被害者の子供にとってはハイリスク
- ② 子供の法定代理人・家裁調査後の子供のカウンセリング経費支援、離婚を経験した子供の相談支援体制の整備も急務
- ③ 共同親権先進国で発生している別居親による子供の殺人
- ④ 同居親による児童虐待も相談・見守りの強化は必須

6 自民党「日本 Well-being 計画推進特命委員会」→**論議の最大の焦点は子供の Well-being**

- (1) 「ウェルビーイング予算」の世界的動向一米「幸福とレジリエンス確保プログラム」豪『心は大事』プログラム→親・子供の「幸福度」を高める（GDPからGDWへ）
- (2) G7サミット・教育大臣会合（5月）における国際発信はいかにあるべきか
- (3) 大阪万博（2年後）における国際発信はいかにあるべきか
- (4) 肉体的・精神的・社会的健康＝ウェルビーイングの実現をいかに図るかが最重要課題